

こが



市議会だより

<http://www.city.koga.fukuoka.jp/>



古賀の浜で見られる空の青 海の青

特集

新メンバー紹介 2~5

議長・副議長あいさつ
議会の構成 議員の顔ぶれ

第2回定例会 主な審議 6~7

ここが聞きたい! 一般質問 8~14

意見書・陳情 15

議会 Q&A 議会掲示板 16

第72号

平成27年(2015年)

8月7日

発行責任 福岡県古賀市議会

2015年

新しい議員組織のスタート!

平成27年4月26日古賀市議会議員一般選挙が行われました。
新しいメンバーで古賀市民5万8千人の要望や意見を
古賀市政に反映させていきます。



古賀市議会 議長 4期
19番 結城 弘明

想いは同じ、

躍動するまちへ全力投球

臨時会において議長に選出を頂き就任しました。よろしくお願ひします。

議会改革推進と執行部との二元代表制の一翼を担い、その舵取りの重みを日々感じていく次第です。

さて、急激な少子高齢化と人口減は、市の活力を失わせる重大かつ深刻な課題です。

しかし古賀市は自然や人材、交通アクセス等に恵まれ、さらにはもの創り

の街であり、躍動するための資源は豊富です。あとは組み立てる知恵と行動あるのみで、執行部とは議論を重ね、両輪で推進します。

19名の議員は、栄えある古賀を取り戻したい想いで一致しており、私は託された4年間、その先頭に立ち全力で行動していくことを、お誓いするとともに、皆さまのご支援をお願いする次第です。

市民に開かれ、

信頼される議会をめざして

昨年「古賀市議会基本条例」が施行され、本会議場と第一委員会室にカメラを設置し、インターネットによる議会中継・録画配信や3中学校区での議会報告会を実施し、開かれた議会づくりを進め、議会改革度ランキングで一躍九州一となりました。また、政策推進会議では、「古賀市議会災害対応要綱」などを作成し評価されています。

今期は、「古賀市議会基本条例」を

本格的に実施していく重要な時期です。特に「政策推進会議」では、市民の皆さんの願いや課題を掘り起こし、調査・研究を行い、市長へ政策提言し実現に向けた取り組みを進めます。そのため、あらゆる機会を通じ、市民の皆さんや各種団体との意見交換の場を積極的に設け、市民と議会の共働による政策づくり、議会一丸となって取り組んでいきます。



古賀市議会 副議長 2期
18番 清原 哲史



議会の構成

議長 / 結城 弘明

副議長 / 清原 哲史

監査委員 / 森本 義征

委員会	主な仕事	委員名
総務常任委員会	統計調査、財政、入札、人事、福利厚生、防犯・防災、国民保護、行政区・自治体、男女共同参画、行政経営の総合的な企画、推進などのチェックを行います。	委員長 岩井 秀一 森本 義征 村松 謙二 副委員長 田中 英輔 井之上 豊 清原 哲史
文教厚生常任委員会	学校教育・社会教育に関すること、保健福祉、健康づくり、介護保険、高齢化対策、子育てなどのチェックを行います。	委員長 吉住 長敏 伊東 洋子 福崎 智之 副委員長 阿部 友子 平木 尚子 内場 恭子
市民建産常任委員会	国民健康保険、年金、税に関すること、人権、環境、土地の利用・開発、市の建物・道路・土木、農林業、商工業、公共下水道、水道事業などのチェックを行います。	委員長 高原 伸二 奴間 健司 松島 岩太 副委員長 渡 孝二 古賀 誠視 姉川 さつき
議会報編集常任委員会	議会報「こが市議会だより」の編集および発行に関することを行います。	委員長 内場 恭子 阿部 友子 古賀 誠視 副委員長 福崎 智之 平木 尚子 村松 謙二
議会運営委員会	議会が円滑に運営できるよう、会議の進め方などを協議するため、必要に応じて開きます。	委員長 姉川 さつき 伊東 洋子 井之上 豊 副委員長 奴間 健司 吉住 長敏 渡 孝二
予算審査特別委員会 (第1回定例会にて設置)	当初予算案の審議を行います。	議長を除く議員全員
決算審査特別委員会 (第3回定例会にて設置)	決算案の審議を行います。	議長、議会からの監査委員を除く議員全員
補正予算審査特別委員会	補正予算案の審議を行います。	議長を除く議員全員

暮らしの視点を市政に！「子育てや介護をひとりぼっちにしない古賀市」を目指します。



2番 伊東 洋子 1期
 文教厚生委員会 文政
 ふくおか市民政治 議会運営委員会 ネットワーク

女性の視点、生活者の視点で皆さまの声を行政に届け、提案していきます。



1番 阿部 友子 3期
 文教厚生委員会 無所属
 議会報編集委員会

新人 7人
 経験者 12人

思いを新たに
古賀市議会
 スタート

議席番号	氏名	期数
所属委員会		党派

「市民の健康、まちの元気」健康寿命延伸、医療・福祉・介護の連携を推進します。



5番 奴間 健司 6期
 市民建産委員会 無所属
 議会運営委員会

皆さまが安心して笑顔で暮らせるまちづくりへ、誠実に「本気やる気」で働きます。



4番 平木 尚子 1期
 文教厚生委員会 公明党
 議会報編集委員会

市民が中心、暮らしのための政策実行！古賀市に様々な活を入れる。それが2期目の使命。



3番 高原 伸二 2期
 市民建産委員会 無所属

先輩たちが創ってきた古賀と次世代が創っていく古賀。紡ぐ故郷づくりに行動します。



8番 福崎 智之 1期
 文教厚生委員会 無所属
 議会報編集委員会

平和・人権・環境・福祉など住民の声をいかし、暮らしを大切に街に取り組みます。



7番 田中 英輔 3期
 総務委員会 社会民主党

古賀の再起・復活をめざし、微力ですが、心機一転、汗をかきます、がんばります。



6番 岩井 秀一 2期
 総務委員会 無所属

議員紹介

会派名	議員名 (◎は会派代表者)		
山海会 (さんみかい)	◎田中 英輔	古賀 誠視	伊東 洋子
志成会 (しせいかい)	◎岩井 秀一	姉川 さつき	高原 伸二
自由クラブ (じゆうくらぶ)	◎松島 岩太	渡 孝二	福崎 智之
連 (れん)	◎阿部 友子	吉住 長敏	清原 哲史
希来里 (きらり)	◎奴間 健司	村松 謙二	
公明党 (こうめいとう)	◎井之上 豊	平木 尚子	
会派に属さない議員	内場 恭子 / 森本 義征 / 結城 弘明		

原点回帰。地域の声に耳を傾け、膝を突き合わせて話をし大好きな古賀のために働きます。



11番 松島 岩太 5期
市民建産委員会 無所属

皆さんとお約束したことに積極的に取り組む古賀の新たなまちづくり尽力してまいります。



10番 森本 義征 4期
総務委員会 無所属

市民が主役の行政でなければならぬ。皆さまの思いを議会へ伝え続けていきます。



9番 古賀 誠視 1期
市民建産委員会
議会報編集委員会 無所属

平和、安心の古賀市へ。くらし、福祉、教育の願い実現に、力を尽くします。



14番 内場 恭子 5期
文教厚生委員会
議会報編集委員会 日本共産党

高齢者対策で優しいまちづくり。格差の無い公共交通。安全・安心なまちづくり。



13番 井之上 豊 1期
総務委員会
議会運営委員会 公明党

玄界灘湾岸四自治体はひとつ。古賀市史の編さん実現に執念。ばっしょんブログに毎日投稿。



12番 吉住 長敏 2期
文教厚生委員会
議会運営委員会 無所属

お客様第一主義の考え方で古賀市の課題解決ができる議員として努力致します。



17番 村松 謙二 1期
総務委員会
議会報編集委員会 無所属

行政職41年の現場経験を生かし、雇用拡大、地域力の強化。古賀の活力を生み出します。



16番 渡 孝二 1期
市民建産委員会
議会運営委員会 無所属

1期目から、文化・スポーツの振興に取り組んできました。経験を生かし、さらに頑張ります。



15番 姉川 さつき 3期
市民建産委員会
議会運営委員会 無所属

古賀市議会事務局

古賀市議会が市民に親しまれ、開かれた議会となるよう、サポートしてまいります。よろしくお願ひ申し上げます。



年齢別議員数

(平成27年5月13日現在)

30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代
0人	2人	5人	11人	1人
平均年齢		最年長	最年少	
61歳1カ月		71歳	47歳	

当選回数別議員数

1期	2期	3期	4期	5期	6期
7人	4人	3人	2人	2人	1人

第2回定例会の主な審議

平成27年第2回定例会(6月11日～6月26日)の
主な審議の要点を報告します。

企業誘致と

自然環境との調和

古賀市の企業誘致を促進するため、それぞれの地域における工場などの緑地および環境施設の面積率を緩和するものです。これにより既存企業では限られた敷地面積を有効活用でき、新規企業では用地取得に費用対効果が期待されます。

古賀中学校の

弓道場が利用可能に

研修棟の建て替えに伴い、長年にわたり市民に親しまれた古賀市弓道場が廃止されます。

今後は古賀中学校の弓道場が利用できるようになりま。また同時に弓道場の使用料も改めました。

この条例は平成27年7月1日から施行されます。



長年親しまれた古賀市弓道場

介護保険料の一部改正

消費税8%引き上げに伴い

介護保険の第1号被保険者(65歳以上の方)の介護保険料に別枠で公費を投入し、低所得者の負担軽減を強化する。この条例は平成27年7月1日から施行されます。

平成27年第2回定例会 議案の議員別賛否一覧

会期：平成27年6月11日～6月26日

号数	議案名	結果	賛成	反対	阿部友子	伊東洋子	高原伸二	平木尚子	奴間健司	岩井秀一	田中英輔	福岡智之	古賀誠視	森本義征	松島岩太	吉住長敏	井之上豊	内場恭子	姉川さつき	渡孝二	村松謙二	清原哲史	結城弘明
47	専決処分(古賀市税条例等の一部を改正)	可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
48	専決処分(古賀市国民健康保険税条例等の一部を改正)	可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
49	専決処分(平成27年度古賀市国民健康保険特別会計補正予算(第1号))	可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
50	古賀市企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例の制定	可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
51	古賀市介護保険条例の一部を改正	可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
52	古賀市立学校体育施設開放の管理運営に関する条例の一部を改正	可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
53	古賀市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正	可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
54	古賀市弓道場設置条例を廃止	可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
55	平成27年度古賀市一般会計補正予算(第1号)	可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
56	平成27年度古賀市介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
57	平成27年度古賀市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
58	古賀高等学校組合規約変更	可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
59	工事請負契約の締結(平成27年度社会資本整備総合交付金事業浜大塚線鋼3径間連続非合成钣桁製作工事)	可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問1	人権擁護委員候補者の推薦	適任	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
60	国民的合意のないまま安全保障法制の制定を行わないことを求める意見書の提出	否決	8	10	○	○	●	●	○	●	○	●	○	●	●	○	●	○	●	●	○	●	●

○は賛成 ●は反対 -は欠席 議員は議席番号順 (■は議員提出議案)

主な審議

議長職のため、表決に参加しない

国からの地方創生先行型の

補正予算を審議

平成27年第2回定例会補正予算審査特別委員会を6月19日、松島岩太委員長、奴間健司副委員長で開催。一般会計8332万円の増額、介護保険特別会計3263万円減額等の補正予算を審議。3議案とも賛成全員で可決しました。

臨時福祉給付金

6,600万円

消費税増税への低所得者の負担軽減策として住民税非課税者11,000人を対象に6,000円を給付する。

子育て世帯臨時特例給付金

2,527万円

給付世帯4,868世帯の児童手当受給者8,425人対象に消費税増税の負担軽減策を図る。

JR古賀駅の駐輪場(あおやぎ葬祭側)の撤去が決まりました。

公衆無線LAN等設備工事

259万円

市役所、市立図書館、サンコスモ、コスモス館にWi-Fiを整備。市外の来訪者に観光などをPRし、薬王寺温泉来訪者を10万人に。

地域経済活性化事業

(農産物消費拡大事業)

324万円

古賀産米販売事業者に割引分を補助するもの。5kg×5,000袋を予定。1事業者でアンケートをとる等の条件がある。

平成27年第1回臨時会 議案の議員別賛否一覧

会期：平成27年5月19日

号数	議案名	結果	賛成	反対	阿部友子	伊東洋子	高原伸二	平木尚子	奴間健司	岩井秀一	田中英輔	福岡智之	古賀誠視	森本義征	松島岩太	吉住長敏	井之上豊	内場恭子	姉川さつき	渡孝二	村松謙二	清原哲史	結城弘明	
45	古賀市監査委員の選任	同意	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
46	工事請負契約の締結(農業集落排水事業 薦野・米多比地区処理施設工事(土木工事))	可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成 ●は反対 -は欠席 議員は議席番号順 (■は議員提出議案)

平成27年第1回臨時会

(5月19日)

正・副議長が選出されました

市議会議員選挙後、初めての臨時会で正・副議長選挙が行われ、議長に結城弘明議員、副議長に清原哲史議員がそれぞれ選出されました。

併せて古賀市監査委員は、森本義征議員が選出され、各常任委員会の正・副委員長と委員の選出も行いました。

薦野・米多比地区が施工区域に

農業集落排水処理施設の工事について、一般競争入札による工事請負契約を賛成全員で可決しました。

正・副議長及び古賀市監査委員選挙結果

議長	◎結城 弘明 16票	内場 恭子 1票	無効票(白票) 2票
副議長	◎清原 哲史 16票	内場 恭子 1票	無効票(白票) 2票
監査役	◎森本 義征 12票	内場 恭子 6票	阿部 友子 1票

ようこそ古賀市へ!!

■議会運営委員会

- ・熊本県菊池郡大津町議会(7日)
- ・愛知県小牧市議会(9日)
- 「議会運営」と「議会基本条例」について

■議会編集委員会

- ・大分県国東市議会(14日)
- 「編集作業と事務局の役割」について



こがが聞きたい！ 一般質問

合併構想のその後と施政方針について

(答) 合併はその時期ではないが必要と考える



岩井 秀一
(志成会)

行政は残念ながら手出し
ができないのが実態。

問 高田地区に商業施設
が次年度完成するが、ア
クセスが非常に悪いので
は。市としての関与は。

建設産業部長 道路など交
通安全対策として関与す
ることは可能である。

問 千鳥駅前開発整備
について進展はあるか。

市長 東口駅前広場、踏
切の拡幅、それにともな
う花見松林線の整備など
平成32年度完了を目指し
地権者と交渉する。

問 古賀駅周辺の安全
対策、家屋の崩壊など、に
ぎわいや活気も大切だが
早急に取り組む必要があ
る。



閉店による買い物弱者への対応が急務

市長 交通安全上、危険
な箇所については、早期
発見、改善につとめたい。

問 空き家対策として、
高齢者施設を考えては、
民生委員や福祉委員の
事務所としても利用でき
る。古賀モデルの発信を。

市長 実態調査の結果
を踏まえ、先進自治体の
事例を参考にして取り組
む。

問 古賀市自治基本条例
(仮称)について所感を。

市長 平成28年度中に制
定したい。市民意見を反
映するため公募市民30人
で構成する策定委員会を
設置した。

問 条例は条例であり、
その優位性はなく法律を
優越することはない。

憲法9条を破壊する戦争立法をどう考える

(答) 憲法・国防議論は地方議会にそぐわない



内場 恭子

教育長 学習環境への配
慮は必要。中学校図書館
にはエアコン設置済み。今
年は全小学校に扇風機設
置を完了する。

問 PM2.5や大気汚染
物質から子どもを守るに
は扇風機では不足。エアコ
ン設置のために気温など
環境把握をすべきだ。

教育長 把握をしたい。

問 70歳以上の方への西
鉄バスのグランドパス購
入補助の効果は。市民が
利用しやすい公共交通が
必要だが。グラン
ドパス補助の延長
はどうか。

市長 検証はも
う少し状況を見て
から。利用しやす
い公共交通は西鉄
と協議しながら、
公共交通活性化委
員会の意見を参考
に研究する。補助

問 選挙公約の水道料金
引き下げは任期中のいつ
か。水道料金は高いのか。

市長 検討に時間がかか
る。いまは答えられない。
県内では高くはない。

問 高い方から24位。福
北導水の利用などで、早
く引き下げてほしい。

問 子どもの医療費の拡
充や保育料等の負担軽
減、ひとり親家庭の支援
が必要だがどうか。

市長 子育て世帯の負担
軽減は必要。少子化対策
のために、理想的に全額
国費負担が望ましい。

問 保護者からの要望も
ある小・中学校全教室へ
のエアコンの設置が必要
かどうか。



語り継ごう平和の大切さを

後期基本計画には雇用の指標に正規雇用率を

(答) 企業誘致と合わせて積極的に取り組む



田中 英輔
(山海会)

用の指標を、後期基本計画では正規雇用率にしては。

問 安心して働ける雇用環境づくりは、どう取り組まれているか。

市長 無料職業紹介所を中心に、関係課が連携し取り組んでいる。

市長 若い世代の安定した雇用環境の整備は重要と認識している。本年度実施する空き家、空き地調査から検討したい。

問 平成25年度の就労が決定された方の内、正規雇用は101人(27%)だった。正規雇用の促進の取り組みは。

市長 突然の心停止は、死亡率89%と高く、1分でも早いAEDの使用が重要とされている。公民館、集会所の設置状況は。

問 安心して働ける雇用の促進を

市長 市内には100カ所以上に設置されている。

問 別地域に設置している。

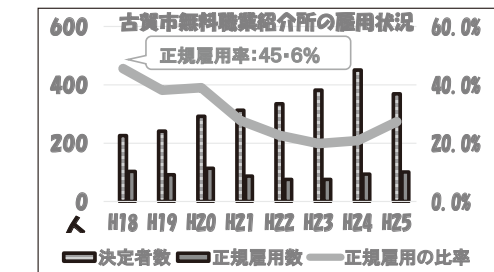
市長 別に地域公民館には4台設置している。

問 設置促進の考えは。

市長 「防災資器材購入費補助」の活用を願いたい。

問 AEDの価格は25万円程度と聞く、対応は難しい、検討すべきだ。

市長 このほか古賀市の平和行政について質しました。



安心して働ける雇用の促進を

スポーツ振興にもっと力を

(答) 進めていきたい



姉川 さつき
(志成会)

度調査では36・9%に上昇している。今後平成30年までには50%達成を目標としている。

問 平成25年度に文部科学省が行った調査では、国の平均はすでに47・5%であり、さらに計画は65%としている。古賀は実施率も目標も、共に低いのでは。

市長 古賀ではスポーツは盛んに行われている。今後さらに、市民意識の向上に努めたい。

問 国では「スポーツ庁」の設置法が可決し、目的は縦割りで行われていた施策を一元化するもので、市でも考え方は当てはまるのでは。

市長 健康・福祉に関することは保健福祉部、スポーツに関することは教育部で対応しているが、その良さもある。連携を密にしていきたい。

問 スポーツ施設やグラウンド整備等の計画は。

市長 古賀市民体育館の改修予定。今後も計画的に整備や修繕を行う。

問 グラウンドの整備状況は悪い。現状を把握し、快適な環境を提供すべき。

市長 健康・福祉に関することは保健福祉部、スポーツに関することは教育部で対応しているが、その良さもある。連携を密にしていきたい。

市長 健康・福祉に関することは保健福祉部、スポーツに関することは教育部で対応しているが、その良さもある。連携を密にしていきたい。

市長 健康・福祉に関することは保健福祉部、スポーツに関することは教育部で対応しているが、その良さもある。連携を密にしていきたい。



ひとり1スポーツを

誰もが出掛けたくなくなるまじわりについて

（答）今後も整備に取り組んでいく



伊東 洋子
(山海会)

と考えている。

問 西鉄バスに対して、利用しにくいとの市民の声が多いが。

市長 これまでもバス停の新設やルート変更、増便などの改善を行っているが、市民の中に改善を求める声があるのも承知している。

問 交通バリアフリー基本構想の達成状況は。

市長 平成24年度までに、特定経路21経路のうち17経路が整備済み。今後とも整備に向けて取り組んでいく。

問 古賀市内の県道・国道部分のバリアフリー化は、どう考えているか。

建設産業部長 古賀市の事業計画を示しながら早急に、県と国に働きかけていきたい。

問 古賀市全体のバリアフリー化についてどう考えているか。

市長 全面的にバリアフリー化は、経費的に困難だが、新しく作る所は、ユニバーサルデザイン化で

市長 全ての

市長 今後、西鉄と協力を重ね公共交通活性化委員会などの意見も参考に、より良い公共交通のあり方について研究していく。

問 高齢化社会に備え市民の交通手段をどうする。

市長 全て



少しの段差も実は大変

の市民の交通手段をバスだけに頼るのは、無理がある。基幹交通はバス。そのほかは、お出かけサポート、お出かけタクシーを提案。

問 お出かけサポート、お出かけタクシーの広がり。

総務部長 区長会を通して案内させてもらっているが世話役がなかなか見つからず、広がっていない現状だが、今後も進めていきたい。

耕作放棄地対策をどう進めていくか

（答）新しい担い手の参入を支援していく



高原 伸二
(志成会)

問 新しい担い手の参入とは。

農林振興課長 農家の後継者、新規就農者、法人、企業等を想定している。

問 山林化・原野化した耕作放棄地の面積が79.6ヘクタール、これはほぼ再生不可能と理解している。この深刻な状況に歯止めをかけるために、企業における農業への参入を検討してみても、具体的に声をかけたことなどあるか。

建設産業部長 企業に声をかけたことや説明会を開いたことは無いが、企業の参入も視野に含めた研究を担当課で行っている。

問 農業委員会や再生

協議会では耕作放棄地対策に関してどのような方針・方向性・目標を持っているか。

農林振興課長 農業委員会での農地パトロールで耕作放棄地の早期発見、再生協議会での担い手の育成や人・農地プラン活用、農業事業の活性化対策、人を育てることが重要なため、若手農業者の意見、考えを吸い上げる。

問 高齢者がいきいきと働くことのできる職場づくりの実現についてどう取り組むか。

市長 高齢者の社会参画を実現させることは重要であり、働きたい人と働いてもらいたい人をつないでいくことが、行政の役割。高齢者雇

用の促進に向けて、関係機関と連携しながら積極的に取り組む。

問 65歳以降の継続雇用や雇い入れ等に取り組む企業への支援策は。

商工政策課長 支援策は重要、市ではまだ整備できていないが国での高齢者を対象の助成金、週30時間以上の労働に、年間、大企業で50万円、中小企業では90万円の活用を企業に啓発していく。



耕作放棄地の対策は急務である

市民の利便第一に、市長・市議選の同日化を

〔答〕 同日選で経費も830万円節減可



吉住 長敏 (連)

問 分離選挙と同日選挙との比較をした見解を。

選挙管理委員長 経費面で

市長選約1400万円、市議選で約1500万円、計2900万円。重複を削ると約2070万円。差額約830万円の節減が可能。投票率も昨年の草加市の例で同日選により投票率が前回より11ポイント上がっている。私見ではあるが、やれば必ずや投票率は上がると思う。

問 市長、市議の同日選挙を可能にするには。

選挙管理委員長

一つは、議会が市長選挙の開票日前40日以内に解散した場合、もう一つは、市長が

2月10日から4月8日の間に辞職し、再任されなかった場合。この二つに限られている。

問 今年8月実施予定の選挙に関する2000人の意識調査の内容は。

総務課長

いま検討中。

問 投票環境を改善する積極予算は必要。同時に経費の節減視点は軽視できない。同日選を求め

自主解散決議案と請願の2件が上程された経緯や各地の潮流もある。今後議決した場合の対応は。

総務課長

仮に決議された場合、その日から即、40日以内の選挙へ対応する。

問 市長選挙と市議選挙は、ついに投票率50%を下回った

市長

6人も立候補

したのだから60%はいくと思っていた。意外だった。確かに民主主義が危惧されると思う。

市議員の地域担当制

人材育成方針で職員は市民の中に入ることをいとわないとある。46区

市長

コミュニティのあり方の中で検討している。

第2回定例会



答弁される原田選挙管理委員長

活力あるまちづくりをどう推進するのか

〔答〕 企業誘致促進条例を制定し、推進する



清原 哲史 (連)

問 「古賀駅東口周辺土地利用構想」が示されたが、どう具体化していくのか。

市長

持続可能な魅力あるまちづくりを進めるため、市民や関係企業の意見を聴き、中心市街地の活性化に取り組んでいきたい。

問 当面の課題として、西口商店街の活性化が重要だ。西口の空き店舗対策はどうするのか。

市長

厳しい事業環境下にあると認識している。公募型補助金事業や経営力強化事業を通じ、既存の中心市街地の維持・活性化に取り組む。

活用により、積極的に企業誘致を推進し、産業の集積を図り雇用の拡大、若者の定住化、自主財源の確保に取り組むべき。

市長

雇用の拡大、若者の定住化、自主財源の確保は重要な課題であり、達成すべき目標。自治体間競争に負けないためにも「企業誘致促進条例」を作り、対応していきたい。

問 インター周辺の土地利用は、交通便利性に優れる特徴を生かし、工業・流通系の誘致を目指し、企業誘致推進本部を中心に、市内一丸となって取り組む。

市長

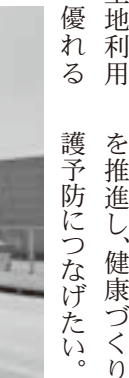
次に、「ひとの元気」についてだが、団塊の世代が後期高齢者になる

2025年には、老老介護、孤独死、介護士不足、扶助費の増大など様々な問題が生じる。健康寿命延伸にどう取り組むのか。

市長

特定健診等で生活習慣病を発見し、早期治療につなげる。生きがいや自己実現を図れるよう地域活動の活性化やヘルス・ステーションの設置を推進し、健康づくり、介護予防につなげたい。

現在家工業団地



現在家工業団地

公共交通の地域格差と健康長寿について

(答) 今後の在り方について研究していく



井之上 豊
(公明党)

問 市民の方々が、口にされているのが地域によつて公共交通を使えない場所があるということ。高齢者が行きたい所に自分の意志で行くことができれば健康長寿につながる。地域格差が無く、移動できるためにはやはりコミュニティバスが必要。しかも大型バスではなく、小回りが出来る12から13人乗りのワゴン車が最適と思う。

市長 古賀市における公共交通に関しては、平成26年度に市民4000人を対象にアンケート調査を行い、1413人から回答を頂いた。その中で、路線バスを定期的に利用し

ている方の利用目的は、通勤・通学はもとより、買い物、通院、趣味・娯楽のため、と言う回答が多く見られた。また、バスの運賃については、適当であると思つていらっしゃる方が多いことや、ほかの交通機関との乗り継ぎやすさを求める意見が多いこと、約70%の方が利用していないこと等が結果から見て取れた。このように路線バスに関する市民の意向も様々だが、平成26年度で25万405人の利用実績があることから、今後西鉄と協議を重ねながら、公共交通活性化

委員等からの意見も参考にして、古賀市におけるより良い公共交通の在り方について研究していく。結果はどうなるか。

総務部長 結果が分かればパーパーでお知らせする。



朝一番の混雑時のバス

ひとり親家庭への支援充実を

(答) 経済的支援など幅広く対応している



阿部 友子
(連)

問 健全な子どもの育ちを考えると、ひとり親家庭への支援充実が必要と思うが、現状と課題を。

市長 児童扶養手当、高等技能訓練促進給付金、保育料の軽減など、経済的支援や家庭生活支援員を派遣する事業などにより幅広く対応している。また、相談も随時受け、専門機関へつなぎ、支援している。

子育て支援課長 子育てB OKやHP、広報紙などで流している。必要な方に届くよう、今後とも力を入れていく。

問 古賀市におけるひとり親家庭の実態調査はなされているか。

市長 古賀市に育つ子どもたちが健全に育つために、その親がま

保健福祉部長 福岡市で実施するようになつたというところで、古賀市でも検討していきたい。



支援が必要な方に支援策は届いているか

◇議会だよりに掲載する一般質問の原稿は、議会会議録をもとに質問した議員の責任でまとめたものです。

JRししぶ駅周辺の安心・安全の取り組みは

〔答〕 状況を踏まえ、地元区などと協議し取り組み



古賀 誠視
(山海会)

問 県道495号線の信号・横断歩道の設置についてどう考えているか。

市長 県道495号線の住宅の状況および交通量の状況を踏まえ警察、県地元区と協議し取り組む。

問 JRししぶ駅に通じる道が、夜間は暗く日吉台区からも駅の利用がしにくいとの苦情があるが。

市長 防犯灯は、地元区に設置して頂いているが、防犯灯にかかる経費については、補助金も交付している。

建設産業部長 鹿部区・日吉台区と協議していく。

問 中高年齢のソフトボール場の確保は。

市長 現在ソフトボールができる施設は4カ所、小学校で8校のグラウンドがあり、土・日・祝日も空きがある状況。今後も既存施設の有効活用を図り、スポーツ施設の整備を検討していく。

問 千鳥苑のゲートボール場の補修、グラウンドゴルフや軽スポーツ等ができるよう人工芝にしたらどうか。

市長 市ゲートボール協会から補修等の要望があったことは、社会福祉協議会から聞いており、グラウンドゴルフ等の併用について、ほかの利用要望等が寄せられている。社協とも協議し、多目的利用の検討をする中で判断する。

問 花鶴川南側では生鮮食品を買い取る所が少ないが市はどう考えているか。



信号機がほしい495号線（Jフォレスト前）

市長 全国的な少子高齢化や過疎化の進展等で日常生活に不可欠な生活インフラが弱体化していく中、買い物弱者の増加が課題であると認識している。市として税や交付金等優遇措置を講じての商業施設を誘致することはない。総合振興計画や都市計画マスタープランといった上位計画を軸に、商業施設を含めた市全体のまちづくりに取り組む。

活字離れの防止につながるセカンドブックを

〔答〕 有効な取り組みと認識、検討中



平木 尚子
(公明党)

問 核家族が増える中、乳幼児虐待防止につながる「産後ケア」の必要性について、どう考えるか。

市長 乳幼児全戸訪問事業での相談などで、虐待防止につながる。また、妊娠期および産後まで助産師、保健師によるケアサポート事業にも取り組んでいる。

問 開始から12年。ブックスタートをさらに発展させ、読書習慣を身につけ将来の活字離れ防止につながる2〜3歳で、再度絵本を配布するセカンドブックに取り組んでは。

教育長 古賀市は、他市に負けないくらいの読書活動をしている。現在、市

立図書館で情報収集をしているところで、配布の時期も含め、検討中。

問 若い母親の交流の場の拡大や充実について、どう考えているか。

市長 乳幼児居場所提供事業の「つどいの広場」などの参加が、交流の場となる。また、子育て中の母親参加の情報誌を発行し、参加者の交流やつながりが増えることを期待する。

問 食育推進計画策定の進捗状況及び筆すべき内容、取り組みは。

市長 平成30年度のスタートを目指し、策定中。現在は、出前講座を活用し、地域での食育活動、大人の生活習慣改善なども

に、子どもとその家族にターゲットにした食育活動に取り組んでいる。

予防保健課長 平成26年度には、子どもを対象に、食事の大切さを学ぶ食育活動に取り組んでいる。古賀竟成館高校を始め、古賀北中学校と福岡女学院看護大学とのプロジェクトを継続し、今年度より、小学校も対象に骨密度測定を通し、食育に取り組んでいく。



セカンドブックで選ばれている本の一部

1000円バスの公約は、どうするのか

〔答〕 来年度は、実現できるようにしたい



村松 謙二
(希 来里)

交通と補完的交通の組み合わせを考えている。コストの安い交通手段があれば、すぐに実施したい。

〔問〕 コストありきの考え方を変えない限り、永久にこの問題は解決できないと考えるが。

〔問〕 市が西鉄に支払う補助金は年々増え、利用者は減り続けている。この現状では毎年税金が増えていく一方では。

〔市長〕 福津市や新宮町も赤字補填で運行している。

〔問〕 1000円バスの公約はどうなのか。この施策は二重運賃という問題があり実現が難しいと思うが。

〔市長〕 公約として掲げた以上、来年度は実現できるように協議したい。

〔問〕 これまで何年も解決できていない最大の原因は何か。

〔市長〕 名案がなかなか浮かばなかった。今後は基幹

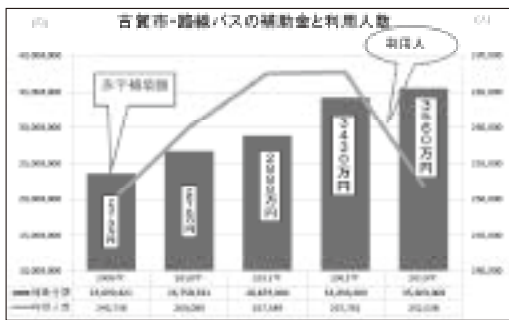
とは認識している。

〔問〕 提案したい。小・中学生の夏休み限定無料バスを。交通手段が無い小野・青柳校区の子ども達が気軽に図書館へ行ける。

〔市長〕 面白い提案だと思ふ。吟味したいと思ふ。良いと思ふことはやってみたい。

〔問〕 財源について、健康寿命延伸で医療介護費用が大きく減ることが分かった。外出を促すことで地域の経済から健康福祉まで効果があると考えると扶助費を削減できる。この財源を公共交通に充てることで根本的な解決につながっていくと思ふが。

〔市長〕 外出が健康寿命延伸につながるこ



西鉄バスへの補助金と利用者数推移

10年後の介護保険料は推計で9千円台では

〔答〕 財政を圧迫、そうならぬよう努力したい



奴間 健司
(希 来里)

減額され、総合戦略に関する予算を獲得しなければ財源の減少になる。そこそこの努力は必要だ。

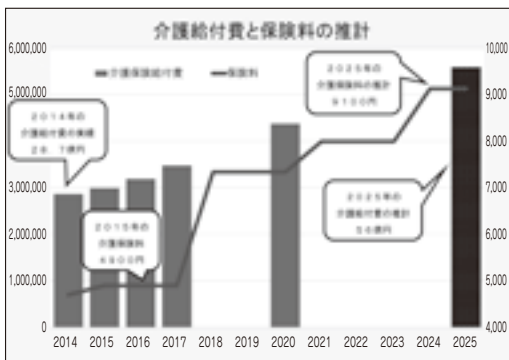
〔問〕 市の介護給付費は2025年には約56億円、介護保険料は9100円になるという推計がある。

〔市長〕 本場にそうならば市の財政は相当圧迫される。そうならないよう努力したい。糖尿病や認知症予防の対策を取りたい。

〔問〕 介護保険料を値下げした大分県豊後高田市は保健師等の体制を強化し介護予防に力を入れた。2025年間に備え保健師を増やすべきだ。

〔市長〕 健康寿命延伸にむけ担当部課で鋭意検討している。そのために必要な人事配置

〔市長〕 力点を総合戦略だけに置くことは考えていない。ただ地方交付税が



2025年への備えのカギは保健師増員

意見書

国民的合意のないまま安全保障法制の制定を行わないことを求める意見書

この意見書は、戦後70年。今国会で審議されている平和安全法整備法案は、集団的自衛権の行使を可能にするため等の法案を一括したもので、戦争放棄、戦力の不保持を定めた憲法に違反し、我が国の基本政策を転換し、戦争を放棄した平和国家日本のあり方を根本から変えるもので、国民はこの法制定に疑問と不安を持っていきます。国民的合意のないままの法制定を行わないことを求めるものです。

反対討論では、自衛隊出動は新三要件に合致した時のみで、抑止力を高め戦争を未然に防ぐことが目的の法整備は必要です。誤解と曲解に基づく意見書は反対との討論がありました。

賛成討論では、平和を守ることが大切で、集団的自衛権の行使は日本国憲法9条に違反します。国民が納得できる十分な審議は当然とのことか

ら意見書提出に賛成等の討論がありました。

採決の結果、賛成少数で否決されました。

提出者 田中英輔

賛成者 阿部友子

村松謙二

内場 恭子

(賛否は6ページ参照)

陳情

27年陳情1
古賀市家賃補助制度に関する陳情

陳情者 ホクリ不動産

代表 北崎利明

平成27年古賀市議会第3回定例会会期日程(案)

会期 9月1日～9月30日 30日間

月日	曜	開議時刻	会議名
9/1	火	9時30分	本会議(初日)
3	木	〃	〃(2日目)
4	金	〃	常任委員会
7	月	〃	〃
8	火	〃	〃
9	水	〃	補正予算審査特別委員会
10	木	〃	一般質問
11	金	〃	〃
14	月	〃	〃
15	火	〃	決算審査特別委員会①
16	水	〃	〃
18	金	〃	〃
24	木	〃	〃
25	金	〃	〃
28	月	〃	議会報編集常任委員会⑤
30	水	〃	本会議(最終日)

注) 会期日程は、8月27日(木)の議会運営委員会決定後、市役所ロビーなどに掲示します。
 ◎本会議ですべての質疑・討論の記録は「議会議録」に収録されています。また、議会ホームページでもご覧になれます。会議録は、議会事務局で販売閲覧、市立図書館で閲覧できます。
 ◎議会の本会議、各委員会は傍聴することができます。(本会議の傍聴席は46席、委員会傍聴席は原則5～10席です)
 ◎請願書の締切りは8月25日(火)午後5時です。

インターネット議会中継をご覧頂くには、パソコンで <http://www.city.koga.fukuoka.jp/> の **トップ画面**⇒古賀市議会⇒インターネット議会中継⇒録画中継⇒議員名か会議名で検索できます。
 ※但し、スマートフォンやiPadでは、まだ見るできません。議会としても改善してまいります。

政策推進会議

6月11日

市民の声を市政に反映させるために、市議会提案の政策を進める政策推進会議を、新たに田中英輔会長、清原哲史副会長ではじめました。

政策推進会議役員会メンバー(各会派より)

- ・山海会 田中英輔
- ・志成会 姉川さつき
- ・自由クラブ 松島岩太
- ・連 吉住長敏
- ・希来里 村松謙二
- ・公明党 井之上豊

議会報告会へスタート!

6月23日

平成27年度議会報告会を実施するための幹事会が新たに出発しました。

- 岩井 秀一 会長、内場 恭子 副会長
 幹事会メンバー
- 総務委員会 田中英輔 副委員長
 - 文教委員会 吉住長敏 委員長
 - 市民建産委員会 阿部友子 副委員長
 - 高平原伸二 委員長
 - 渡孝二 副委員長
 - 議会運営委員会 姉川さつき 委員長
 - 奴間健司 副委員長
 - 議会報編集委員会 福崎智之 副委員長

議事Q&A

Q 「一般質問」ってなあに？

A 議員が、市長・教育長などに対して、行財政全般について、行政の姿勢や将来への考え方を質問するもので、年4回の定例会のみでできます。

一般質問は、議員主導による政策論議で、その効果を高めるために質問の要旨をあらかじめ議長に提出する通告制としています。

Q 議員をイベントに招待。差し入れの要求はしてもかまわない？

A お金の寄附をはじめ、弁当や飲物を差し入れるたり記念品等を届けること

は禁止されています。(お中元やお歳暮を贈ることも禁止されています。)

Q 会費制のイベントに議員が出席し、定められた「会費」を支払うことは問題ない？

A 会費制の会合や行事の際の「会費」については、寄附にあたらぬので、さしつかえありません。ただし、設定された会費以上の金額を出すと、寄附行為となり違反になります。会費制でない似たような会合に参加し、寸志を包むというような行為も違反となります。

第2回定例会の傍聴者は1111人でした。ありがとうございます。

第3回定例会は9月1日(火曜日)開催予定です。また、インターネットによる中継、録画配信も行っております。

議 会 掲 示 板

議会改革度調査2014

早稲田大学マニフェスト研究所は、全国の議会改革がどのような状況、傾向にあるかを調べるため、『議会改革度調査2014』を実施しました。2015年2月5日(金)にインターネットを通じて調査結果を全国各地の議会に発行し、全自治体の94%にあたる1,503の議会からご回答いただきました。

- ・調査結果の一部として下記を公開します。
- ・議会基本条例の制定
- ・政務活動費のインターネット公開
- ・議会幹事会の開催
- ・女性議員比率の向上
- ・女性議員比率

早稲田大学マニフェスト研究所
議会改革調査部会
2015/5/28

福岡県	1	古賀市議会
	2	北九州市議会
	3	筑前町議会
	4	大牟田市議会
	5	小都市議会
	6	田川市議会
	7	宗像市議会
	8	福岡市議会
	9	新宮町議会
	10	筑紫野市議会

古賀市議会は、
地方議会改革度
福岡県1位!
(九州でトップ)



結城議長から表彰状を受け取る奴間前議長

4年以上議長職を勤めた議員として、奴間議員が全国市議会議長会より表彰されました。

早稲田大学マニフェスト研究所が行っている議会改革度調査2014の調査結果報告によると、議会改革に取り組んでいる自治体ランキングで、古賀市議会が福岡県で1位(九州でトップ)という成績をいただきました。

表紙の言葉

地域で取り組んでいる松原清揮、市民参加の環境美化運動。未来に残していきたい古賀の浜では、今年も穏やかな波と小さな笑顔が輝いていました。

編集後記

梅雨の大雨も終わり、太陽の日差しがキラキラ眩しい季節になりました。
古賀市議会も新人議員7人、ベテラン議員12人と新鮮なエネルギーと知恵がバランスよく動き始めています。
議会報編集委員会も今期から常任委員会となりました。編集委員も新たなメンバーで、これからの議会だより発行への熱い思いに胸踊らせながら、それぞれの持ち味を生かした紙面づくりに取り組んでまいります。

市民の皆さまに読んでいただける、親しみやすい「議会だより」とするために編集委員一同、心をひとつに頑張つてまいります。ご意見、ご感想をお寄せください。お待ちしております。(内場)

議会報編集常任委員会

- 委員長 内場 恭子
- 副委員長 福岡 智之
- 委員 阿部 友子
- 委員 平木 尚子
- 委員 古賀 誠視
- 委員 村松 謙二

